動的オブジェクト

1. 概要	2
2. 出力パターン	3
2-1. 動的オブジェクトの出力位置	3
2-2. 動的オブジェクトの出力条件	4
3. 定義方法	5
3-1. 動的オブジェクトの作成	5
3-1-1. オブジェクトの動的化	6
3-1-2. 動的オブジェクトの確認	8
3-2. 動的オブジェクトの出力	9
3-2-1. データ指定出力	9
3-2-2. 自動出力	3
4.XML データによる動的オブジェクトの出力1	7
4-1. 動的オブジェクト名の指定方法1	7
5. 動的オブジェクト設定について1	8
5-1. Form エディター	8
5-1-1. リンク先テキスト変数に対する位置設定1	8
5-1-2. 各オブジェクトに対する重ね合わせ設定1	9
5-2. Datamap エディター2	20
6. 注意事項	2

1. 概要

動的オブジェクトは、データ項目の切り替わりや最終行を自動的に判断したり、データファイ ル中で任意に指定した出力位置を判断し、出力帳票内へ動的に出力されるオブジェクトです。 動的オブジェクトを使用することで、可変長の帳票を動的に作成することができます。 また、文字の打ち消し線や背景色としても利用することができます。

動的オブジェクトとして使用できるオブジェクトは以下の通りです。

■直線オブジェクト
 ■四角形オブジェクト
 ■楕円オブジェクト
 ■罫線オブジェクト
 ■固定テキスト

また、これらのオブジェクトを組み合わせて、一つの動的オブジェクトとして作成することもできます。

<< 注意 >>

動的オブジェクトが使用できる入力データタイプは、CSV データ、XML データ、DB データです。 ※ DB データにおける動的オブジェクトはマネージャーのメニュー [ヘルプ] - [オンライ ンマニュアル] から「3. 機能リファレンス」-「3.2 エディターの操作」-「DB 形式の Datamap エディター」をご覧ください。

<u>2. 出力パターン</u>

2-1. 動的オブジェクトの出力位置 動的オブジェクトの出力位置は以下のように決定されます。

■X座標(横方向)

Form エディター上での動的オブジェクト作成位置がそのまま反映されます。

■Y座標(縦方向)

動的オブジェクトは、リンク指定を行ったテキスト変数を基準にして、以下の二つの方法によって出力位置を決定することができます。

※テキスト変数とのリンク指定に関しては「3-2. CSV データによる動的オブジェクトの出力」 をご覧ください。

1. データ指定出力

データファイル中で出力位置を指定します。 出力位置の指定は、CSV データの1列目に動的にオブジェクト名を指定する方法や、XML デー タの要素の属性に動的オブジェクト名を指定する方法があります。 実際に動的オブジェクトが出力される位置は、ここで指定したデータの出力行とリンク先 テキスト変数の行間隔から算出されます。

2. 自動出力

リンク先テキスト変数にマッピングされたデータ項目の切り替わりや、最終行が検出され たタイミングで、動的オブジェクトを自動的に出力します。 さらに、データ項目中の全行に対して自動的に出力することもできます。

■オブジェクトの基準座標

上記 Y 座標で指定された出力位置に対し、実際に動的オブジェクトが描画される基準点が存在 します。

その基準点は、基本的には動的オブジェクトの左上の点となります。

<u>図:基準点</u>





複合動的オブジェクト

※×印は基準点を表しています。

個別の動的オブジェクト

2-2. 動的オブジェクトの出力条件

動的オブジェクトの出力条件として設定できる項目は以下の通りです。 ※設定方法については「3-2.動的オブジェクトの出力」をご覧ください。

■出力位置指定

入力データファイル中で動的オブジェクトの出力位置を指定します。

■データ切替

リンク先テキスト変数によって出力されるデータの切替(キーブレイク)で動的オブジェクト を出力します。

■全行(パターンA) リンク先テキスト変数によって出力されるデータの全行に動的オブジェクトを出力します。

■全行(パターン B) リンク先テキスト変数によって出力されるデータの全行に動的オブジェクトを出力します。 ただし、最終ページの最終行に動的オブジェクトは出力されません。

■全行(パターンC)

リンク先テキスト変数によって出力されるデータの全行に動的オブジェクトを出力します。 ただし、各ページの最終行に動的オブジェクトは出力されません。

■最終行(パターンA) リンク先テキスト変数によって出力されるデータの最終ページの最終行に動的オブジェクトを 出力します。

■最終行(パターンB)

リンク先テキスト変数によって出力されるデータの各ページの最終行に動的オブジェクトを出 力します。

3. 定義方法

ここでは、途中まで作成された帳票資源ファイルを使用して、動的オブジェクトの定義方法を 説明します。

説明で使用する作業ディレクトリは、″帳票資源フォルダー ¥tut¥dynamic″です。

帳票資源フォルダーはマネージャーの [ヘルプ] - [バージョン情報] - [バージョン情報詳細] で確認できます。

最終的に出力されるサンプル帳票 ″交通費請求明細書 ″は以下の通りです。

図:サンプル帳票





このサンプル帳票では、交通費のリスト形式の出力枠や線等をすべて動的オブジェクトを使用 して出力しています。一つのフォームで、異なった形の枠を持つ帳票を作成することができま す。

また、動的オブジェクトの出力パターンとして「データ指定出力」と「自動出力」を使用した 場合のデータマップ設定について説明します。

3-1. 動的オブジェクトの作成

Form エディターから動的オブジェクトを作成します。

♦♦ 操作 ♦♦

マネージャーを起動し、ディレクトリツリーより ″帳票資源フォルダー ¥tut¥dynamic″をクリックします。

プレビューエリアより、"trans_fee_set.sty" を選択し、マネージャーのツールボタン[フォーム編集] をクリックします。(プレビューをダブルクリックしても同様です。)

図:trans_fee.fmd

Create!Form V12

F FormIF & - [trans_fee.fmd]	- 🗆 X
▼ 77/10(E) 編集(E) 表示(V) おごうお)(Q) タインドウ(V) へおご(H)	- 6 X
************************************	🖀 🕺 🛎 🖩 🦄 🖬 🕂 🕹 丛目 🖉 🗟 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日
	0
選択 グループ 限定 動的化 テキスト 直線 四角形 楕円 罫線 パーユード (パージ サブフォ	r-h PDF
	PDFV
	100 200 300 400 500
No A 9(7' 支款名 A	
0001 7+2-	fabries April berte fat. 1993.
1000 手公 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	F明細書 France
0005 7+2/-	TH ANTO PARE
0106 テキスト 0107 テキスト	<u></u>
0008 テキスト <u></u>	BENO ID NAGE
0010 的角形 2	
0012 デキスト 111111111111111111111111111111111111	
0013 747	
0015 テキスト 015 テキスト家教 MONTH	
6017 テキスト変数 CODE 8 -	
1019 テキスト支数 ID	
1020 アキスト支数 NAME 0021 テキスト支数 HIZUKE	
0122 テキスト支数 IKISAKI	3
III24 テキスト支数 JYOUSYA III25 テキスト支数 KOUSYA 2	
0126 テキスト支数 KINGAKU	
1127 マーク変数 CHECK 1128 テキスト支数 GOUKELKINGAKU	
0129 ページ変数 AUTO_PAGE 10130 四角形	
0101 7+7-	÷# (6)
0000 <u>2+2</u>	
0035 F+2	
0136 テキスト 0137 テキスト	動的化するオブジェクト
0008 直線. 1009 市場.	
0040 (C18)	
0142 (2)48	
	water water and a second of a second

図中の赤枠で囲まれた部分①~⑥のオブジェクトを動的オブジェクトとして定義します。 各オブジェクトは、このサンプル帳票で次の役割を持っています。

- ①:各行の列区切り線と片/往チェック出力四角形
- 2:日付の区切り線
- 3:行先の区切り線
- ④:交通機関の区切り線
- ⑤:ページ切り替え時の日付の区切り線
- ⑥:合計出力枠

動的オブジェクトとして定義した①~⑥の組み合わせで、サンプル帳票を構成します。

3-1-1. オブジェクトの動的化

①のオブジェクトを動的化オブジェクトとして設定します。

♦♦ 操作 ♦♦

①のオブジェクトすべてを選択状態にし、ツールボタンの [動的化]ボタンをクリックします。

図:trans_fee.fmd

F Formエディタ - [trans_fee.fmd]		- 🗆 🗙
Z ファイム(E) 編集(E) 表示(V) オブション(Q) タィンドタ(W) ヘルブ(H)		_ 6 ×
1 🗃 🖬 🕼 🕼 🖓 💁 🖪 🔁 🗠 🕫 🕺 🛤 🖻 🗙 🖸	I 🗋 🛯 🔍 🔍 🗮 🛅 🚊 🎬 💉 🔺 💷 🤒	월 171 14 11 12 23 24 15 17 1 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 1
▲訳 ダループ 限定 () Ala + □ ○ ● () A-ブ 限定 () 約約化) F43.1 直線 四角形 病戸	田 ■ ■ 201 色 色 家様 バーユード イメージ サブフォーム PDF	
## 僧 配 ✓ % ## ■ 94x1V ページV 日付V マークV リンクV ペーコードV 2Dコード		
	0 100 200	
No. ▲ 9/7* 支助名 へ OI21 テキスト支数 HIZUKE へ		falleler Recipiterin bar. 1993.
0022 テキスト変数 KISAKI 0023 テキスト変数 KIKAN 0024 テキスト変数 JVOUSYA	交通費請求明細書	<u> 300 × 5 × 5 × 5 × 5 × 5 × 5 × 5 × 5 × 5 ×</u>
0025 テキスト変数 KOUSYA 0026 テキスト変数 KINGAKU	BRIN MUCH	
0127 マーク変数 CHECK 0128 テキスト変数 GOUKELKINGAKU 0129 ページ変数 AUTO_PAGE 8	CODE BUSIO	JD NAGE
0030 四角形 0031 テキスト	A 11 Tr To 2000	R4R P488 F/8 & X
0032 〒キスト 0033 〒キスト	HIZING IKISAKI KINAN	ANNEYN KULSTA C.H.E. GAUNEEDI
0034 7=7 0035 7=7		
0130 7 = Xr 0137 7 = + Xr 8 -	9 P P	9 9 9 9 9 9 9 9
0139 008		
0041 直線 10142		
0043 直接		
0045 258 2 2		
0047 直線 -		
0049 II-88 0050 II-88		A #
0051 四角形 1		
0053 直然 0054 直线		
0056 (258)		
0057 E38 0058 E88		
0060 直線 0061 四輪形		
0062 四角形 0053 直接		
		×
17 1	移動量:	位置: 単位:お わト 倍率:100% お ジェクト数:固定[56] 変数[1 NUM /

動的オブジェクト設定ダイアログが表示されます。 通常の変数と同様に、オブジェクト名を設定します。

♦♦ 操作 ♦♦

[オブジェクト名]に"OBJ_1"、[リンク先テキスト変数に対する位置指定]の[位置合わせ]を"上"、[補正]を"-2.000"と設定します。[動的化]ボタンをクリックし、[閉じる]ボタンをクリックします。

※動的オブジェクトの設定項目については「5.動的オブジェクト設定について」をご覧ください。

図:動的オブジェクト設定ダイアログ

動的オブジェクト設定 ×
わジェ外名: OBJ_1
リンク先テキスト変数にに対する位置設定
位置合わせ:上 💌 補正: -2.000 🛨
─── 各わジェ外に対する重ね合わせ設定 ───
⊙ 最前面に描画 ○ 最背面に描画
一 共通な設定を有効にする
線種: 📃 🚽
線幅: 1.500 🔶 色: 選択
動的化產
7泊パティ 閉じる

以上の設定で、①のオブジェクトが動的オブジェクトとして定義されました。 動的化されたオブジェクトは、カーソルをそのオブジェクトに重ねるとツールチップが表示さ れます。 <u>図:ツールチップ</u>



同様に②~⑥のオブジェクトについても動的化を行います。 手順は①と同様です。

♦♦ 操作 ♦♦

各動的オブジェクトの設定値を入力し、動的化を行います。

	オブジェクト名	位置合わせ	補正
2:	0BJ_2	上	-2.000
3:	0BJ_3	上	-2.000
④ :	0BJ_4	上	-2.000
⑤ :	0BJ_5	下	-2.000
6 :	0BJ_6	上	-2.000

①~⑥のオブジェクトの動的化が終了しました。

3-1-2. 動的オブジェクトの確認

Form エディターのオブジェクトリストから動的オブジェクト名の確認を行います。 ※オブジェクトリストが表示されていない場合は、ツールメニュー [表示]-[オブジェクトリ スト]を選択してください。



<u>図 : オブジェクトリスト</u>

動的オブジェクト名が正しく設定されているのを確認し、Form ファイルを保存します。

♦♦ 操作 ♦♦

Form エディターのツールメニュー [ファイル]-[上書き保存]をクリックし、[Form エディターの終 了]をクリックします。

3-2. 動的オブジェクトの出力

3-2-1. データ指定出力

CSV ファイル中で動的オブジェクトの出力位置を指定する「データ指定出力」を説明します。 まずは、すでに用意されているデータ指定出力によって動的オブジェクトを出力する CSV ファ イルを確認します。

♦♦ 操作 ♦♦

データファイルリストの "trans_fee_set.csv" をダブルクリックします。





CSV データファイルの1列目に動的オブジェクト名が指定されています。(1行目のヘッダーマッピング用データは除きます)

ここでは各行で出力する動的オブジェクトが指定されています。1行に複数の動的オブジェク トを指定する場合は、動的オブジェクト名の間を ″:″(セミコロン) で区切って指定します。

CSV データファイルの内容を確認したら、Text エディターを終了します。

♦♦ 操作 ♦♦

ツールメニュー [ファイル]-[Text エディターの終了]を選択し、Text エディターを終了します。

引き続き Datamap エディターから動的オブジェクトの設定を行います。 Datamap エディターから動的オブジェクトとテキスト変数のリンク設定を行います。

♦♦ 操作 ♦♦

プレビューエリアより "trans_fee_set.sty" をクリックし、マネージャーのツールボタン [データマップ編集]をクリックします。

図:trans_fee_set.dmp

Datamap፤דֹי איז - C	SV - [trans_fee_s	et.dmp]									-		×
7714(E) 編集(E) 表	示(1) 打ジョン(0)	0 94×F 90	V) ^#7 (H)										
🖹 🐸 🖬 🖆 🍝	ð 🖪 🖉	× 🖌 🛯	1 📴 9 🗸	本体 、	🛛 🖾 Σ 🔞	1							
変数名 利	動 病性	行	項目書号	行数	項目数 ^>	ダ出力範囲	集計	重複表示					
HIZUKE	7キ자 中央	: 1	÷ 2	31 🖯	1 💠			非表示	\sim				
変数名	又通常請求明約	2004年7月分	55100	フォームプロ	1.5TO A90 19	「「「「「」」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」	BŞ.		***				· · · ·
H MONTH	06J_1;08J_2	/月2日 7月4日	XYZシステム	JR	新宿	有限	100		160				
CODE	0BJ_1:0BJ_3	7月4日	日本ソリューシ	JR	日黒	浜松町	100		160				
H BUSYO	0BJ_1;0BJ_2	洞泪	あいうえ生命	常田	新宿	赤坂	100		160				
🖬 ID	0BJ_1;0BJ_3 0BJ_1:0BJ_2	7月7日 7月8日	目宅 東京情報シスラ	宮団	赤坂	北千住	100		230				
1 NAME	0BJ_1:0BJ_3	7月8日	永代事業所	東急・営団	溝の口	門前仲町	100		410				
P AUTO_PAGE	0BJ_1:0BJ_3 0BJ_1:0BJ_2	/月8日 7月9日	日宅 佐野丁寧	JR JR	「「前仲里」 新宿	日参主 東比壽	100		300				
B HIZUKE	0BJ_1:0BJ_4	7月9日	佐野工業	宮田	恵比寿	神谷町	001		320				
B IKISAKI	0BJ_1;0BJ_2 0BJ_1;0BJ_3	7月10日	自宅	JR	五反田	日登里	100		250				
B KIKAN	0BJ_1:0BJ_2	7月11日	東京ビックサイ	UR KRIM	日発生	新木場	001		420				
B KOUSYA	0BJ_1:0BJ_2	河14日	ABCコープ	當田	中野	茶場町	001		460				
	0BJ_1:0BJ_2 0BJ_1:0BJ_3	7月15日 7月15日	日本テクノロシ	JR·都宮 営団	五反田	朝川	100		420				
	0BJ_1;0BJ_3	7月15日	自宅	200	赤坂	北千住	100		230				
B GOUKEI KINGAKU	0BJ_1;0BJ_2 0BJ_1:0BJ_3	7月16日 7月16日	日本影(12)社	JR・宮団 宮団	日登里 虎ノ門	「死ノ門	100		160				
	0BJ_1:0BJ_2	7月17日	ABCコープ	JR	日装里	上野	100		130				
	0BJ_1;0BJ_3	7月17日	中野事業所	當団	<u></u> 茅場町	中野	100		230				
	0BJ_1;0BJ_2	7月18日	佐野工業	JR 留田	新宿	連比寿 油公町	881		300				
	0BJ_1;0BJ_2	7月22日	西武システムフ	(JR	新宿	浜松町	001		380				
	0BJ_1:0BJ_2	7月28日	あいうえ生命 CreateFormTec	営団・10	新宿	赤坂	100		160				
	0BJ_1:0BJ_3	7月28日	中野事業所	JR	土呂	池設	100		480				
	0BJ_1;0BJ_4;0B	7,H23H	中野事業的	JR	1813	円55	100		160				
													~
<	<												>
17 1									現在位置 < 行:1	7項目番号:11>	変数総数:	14 N	UM .a

マッピングされたテキスト変数を基準に、動的オブジェクトをリンクします。 ここで選択したテキスト変数のマッピング領域および行間隔を基準として、動的オブジェクト を出力します。

ここでは、データ指定出力によって動的オブジェクトを出力するための設定を行います。

♦♦ 操作 ♦♦

ツールボタン [動的オブジェクト]ボタンをクリックし、動的オブジェクト設定ダイアログを表示します。

図:ツールボタン - [動的オブジェクト]

Datama	apエディタ - CSV - [trai	ns_fee_set.dm	p]						
77イル(<u>F</u>) 編	[集(<u>E)</u> 表示(<u>V)</u> オ	ブション(<u>O</u>) りょ	ンド ウ(<u>W</u>)	∿⊮7' (<u>H</u>)			~		
i 🖹 🚔 🖥	🖆 🖨 🖪	8 📩 🗙 🕻	🖌 💷 🗄	9	~ 本体	~ 🖪 Σ	🗟 🔜 ?		
変数名	種別	属性	ŕτ	項目番	号 行数	項目数	ヘッダ出力範囲	集計	重複表示
HIZUKE	テキスト	中央	1	2	\$ 31	‡ 1 ‡		~	非表示
亦数々	交通費	唐求明細2004 3	₹7月分	55100	フォーム	プロダDA9019		太郎	
ALKAND	0BJ_1	7月21		あいうえ生き	2 宮団	新宿	赤坂	00	

<u>図:動的オブジェクト設定ダイアログ</u>

動的オブジェクト設定			×
──括 オフジ生外名 OBJ_1 OBJ_2 OBJ_3 OBJ_4 OBJ_5 OBJ_6	<u>リンク先テキスト変数名</u>	出力条件	 一括編集 すべて選択(S) チェック解除(U)
出力条件説明			ОК ++ури

リストの [オブジェクト名] に Form エディターで作成した動的オブジェクト名が表示されま す。

ここではまず、テキスト変数 "HIZUKE" に対して動的オブジェクト "OBJ_1" ~ "OBJ_5" をリン クします。

また、出力条件として ″出力位置指定 ″を設定します。

※出力条件に関しては前述の「2-2.動的オブジェクトの出力条件」をご覧ください。

♦♦ 操作 ♦♦

動的オブジェクト "OBJ_1" ~ "OBJ_5" のチェックボックスを "ON" にし、[一括編集] ボタンをクリッ クして動的オブジェクトー括編集ダイアログを表示します。

リンク先テキスト変数名に "HIZUKE" を選択し、出力条件として "出力位置指定"を選択し、[OK] ボタンをクリックします。

図:動的オブジェクトー括編集ダイアログ

動的オブジェクト一括編集		\times
リンク先テキスト変数名:	HIZUKE	\sim
出力条件: 出力条件説明 入力テ~タ中で動的オフシ	出力位置指定 ペュ外の出力位置を指定します。	~
	OK ++>\tel	

次に、テキスト変数 "GOUKEI_KINGAKU" に対して動的オブジェクト "OBJ_6" をリンクします。

♦♦ 操作 ♦♦

[チェック解除]ボタンをクリックして動的オブジェクト "OBJ_1" ~ "OBJ_5" のチェックボックスを "OFF" にします。

"OBJ_6" のリンク先テキスト変数名と出力条件のそれぞれに "GOUKEI_KINGAKU" と "出力位置指定 "を 設定します。[OK] ボタンをクリックします。

<< 注意 >>

リンク先テキスト変数を複数行に対してマッピングしたとき、動的オブジェクトはリンク 先テキスト変数に設定した「行間隔」の単位で出力されます。「リスト形式データの出力」 機能と合せて使用する場合、「リンク先テキスト変数を定義した高さ(Y方向のサイズ)」と 「行間隔」の値を同一にしてください。

<< Tips >>

この帳票サンプルでは、テキスト変数 "HIZUKE" とテキスト変数 "GOUKEI_KINGAKU" の行間隔、 マッピング開始行、マッピング行数がすべて等しいため、どちらのテキスト変数にリンク しても出力結果は変わりません。

動的オブジェクトとテキスト変数のリンク設定が終了しましたので、Datamap ファイルを保存 します。

♦♦ 操作 ♦♦

Datamap エディターのツールメニュー [ファイル]-[上書き保存]をクリックし、[Datamap エディターの終了]をクリックします。

最後に動的オブジェクトの出力結果を PDF プレビューで確認します。

♦♦ 操作 ♦♦

マネージャーのプレビューエリアより、"trans_fee_set.sty"をクリックして選択状態にします。デー タファイルリストより"trans_fee_set.csv"をクリックして選択状態にし、マネージャーのツールボ タン[実行]をクリックします。

 \times

<u>図:実行</u>	ダイフ	<u> アログ</u>				
Create!	Form Des	ign V12				
ショフウ 作業テネィ	ァイル: tran パトリ: ^{C:¥}	ns_fee_set.st ProgramData	y a¥Infotec¥(OreateForm¥12¥	work¥tut¥dynam	参照(<u>S</u>)
データーと	出力先;	わションテー	·タベース Si	creen設定		
ID 7	~~9777°\$	3	データタイフ [®]	データソース名		追加(<u>A</u>)
1.0	rans_ree_s	et	Cav	trans_ree_setto	sv	マージ治自加(M)
						削除(<u>D</u>)
						1
						Ļ
宇行され	D					
	14	HTML		Excel	ED周J	
• C.	ast	 Screet 	en	🔘 Expage	🔘 Print	O PrintStage
図:実行クイアロク CreatelForm Design V12 ジョブファイル: trans_fee_set.sty fr葉ディレクトy: C¥ProgramData¥Infotec¥CreateForm¥12¥work¥tut¥dynar データ 出力先 オプション データベース Screen設定 D)データァブ%3 ፲ラ゙ータン-元名 1.trans_fee_set CSV trans_fee_set.csv ま行ラン/b/4 PDF HTML Excel 印刷 ● Cast O Screen Excel 印刷 ● Cast O Screen Excel 印刷 ま行コマントライン: -DC¥ProgramData¥Infotec¥CreateForm¥12¥work¥tut¥d 実行 プレビュー 又実行後)こなパアログを閉じる				/namic -strans_fe		
実行	Ŧ	ን°レቲን	a~ [☑実行後にタイア	ロケを閉じる	閉じる

それぞれの設定項目が正しいことを確認し、テスト実行を行います。

♦♦ 操作 ♦♦

[実行ランタイム]-[PDF]-[Cast] ラジオボタンが選択されていることを確認して、[プレビュー]ボ タンをクリックします。

図:プレビュー画面

🗾 tra	ns_fee_se	t.pdf - Adobe A	crobat R	eader DC										- 0		×
ファイル	編集	表示(V) ウィント	[、] ウ(W)	ヘルプ(H)												
														0		
M-Δ ツール trans_tee_set.pdt × (?) ザインイン											イン					
	~		\sim					m c								0
	C42		Q	U		/ 2	N	C	46.	5% *	□	tt ∎.	1 1	5	1	
						and an	- 4+000 (m. 1977)						(ada	e destruction for AMI		^
交通費請求明細書 交通費請求明細書 交通費請求明細書																
2004年7月分 - 1 - 2004年7月分 - 2 -																
	NA7	884.8		6443	A	4		XX * 7	884.A		19.00	A 4				
	55100	フォームプロ	ダクトG	0A9019	帳菜	大郎		55100	フォームプログ	70 トG	0A9019	帳票	太郎			
		行為	2883		588	用/程	* =		行先	2882		5.8R	用/崔	* =		
	7月2日	あいうえ生命	黄田	新宿	常城	0/0	320	7月24日	現江事業所	8	888	秋葉原	0/0	150		
	7月4日	1112×374	1	新宿	日晶	0/0	160			8 %	岩木町	増仁	0/0	260		
		日本ソリューション	R	日果	供授利	0/0	160		的東車理中	#1#	現任	対弦	0/0	310		
		94	я	就位町	184	0/D	160		BORA	,8	新客	玉戌県	0/0	160		
	7,978	あいうえ生命	常団	刺客	赤坂		160		a≉	<u>,</u> ,	五次田	日春県	0/0	250		
		8.8	常は	宗板	北千任	2/0	230	7,125日	あいう文生命	黄漆	北平住	常板	0/0	230		
	7/1816	東京情報システム	34.88	হাল হাল	1000 CD 100	U/U	310		ART - 7 VX7 X	#(E) • JK	7.8	A2H	U/U	310		
		木代学会内	****	051011	F18(19%)		400		1×777×2	18.40.8	nam	30.41		420		
	7.840	H-C ERTR	800.04	CINING		8/0	310	78.00.0	H IC	40.8 - 34	50.0	188	E/U	320		
	10101	10.47-4-38	-	#150 #15.00	ALC NY		310	171 - 6 11	*****			ID ID ID ID IT		200		
	78140	高速なながらず	20	500	1010 BT	0/0	380		08822		10 20 40 40	08		230		
		自宅	8	X/2 0	0.84	2/0	250	78290	あいうえた会	*12	£10	中國	8/0	230		
	7.811.8	東京ビックサイト		日春年	梨木橋	0/8	420		富士見思	第12 · 38	#-W	与野	R/D	570		•
			18:15	新木袋	国際展示場	0/0	460		中野事業所	38	与群	中野	0/D	290		
	7月14日	ABC=ブ	黄田	中時	茅油町	0/2	460	7月20日	あいうえ生命	(注)来急	新宿	用質	0/0	700		
	7/115日	日本テクノロジ	原・教育	五反田	東川	2/0	420	7月31日	ABCV	18	刺客	供松町	0/0	190		
		あいうえ生命	黄田	未通灯	宗妖	Ø/0	160		日本クリティカル	18.1111	就拉町	高輪台	0/0	230		
		8号	常団	宗坂	光千住	2/0	250		中野事業所	教育・月1	高輪台	8165	0/0	330		
	7月16日	日本和政公社	第・賞読	日暮風	虎ノ円	0/0	320					合 計		¥14, 980		
		本社	黄田	虎ノ門	新宿	0/0	160									
	7月17日	ABC=ープ	<u>12</u>	日暮年	1.19	2/0	130									
			黄田	上時	茶塘町	Ø/0	160									
		中野事業所	*8	米番町	中野	2/0	230									
	7,118,8	化桥工業	R	利害	想比赛		300	1								
			黄田	憲比群	36.5241	0/2	320									
	7) 22	貢献システムズ	1	N 105	高空 町		380									
	0123 8	0117X28	100	#15	(7-5K	B/D	160									
		Createroralists	N 10 - JK	###	10	8/0	610									
		1.44.44.46	-	20	0.00	B/D	400									
	L	1	, A	10.00	1.00	m/1	100									
																~

フォームで作成した動的オブジェクトが CSV データファイルおよび Datamap エディターで指定 した位置に出力されることが確認できます。

以上で、動的オブジェクトを使用した ″交通費請求明細書 ″の帳票が完成しました。

3-2-2. 自動出力

リンク先テキスト変数にマッピングされたデータ項目の切り替わりによって動的オブジェクト が出力される「自動出力」を説明します。

Datamap エディターから動的オブジェクトとテキスト変数のリンク設定を行います。

♦♦ 操作 ♦♦

マネージャーのプレビューエリアより、Job ファイル "trans_fee_auto.sty" を選択し、マネージャーのツールボタン [データマップ編集]をクリックします。

図:trans_fee_auto.dmp

DatamapI7' 49 - 0 0000000000000000000000000000000000	SV - [trans_fe	e_auto.dmp]		. an							-		×
//10日 編集日 表	:示(V) オノッ3 E D ET :	7(U) 9476 9	(W) ~~.	(H)	1								
		v 🔨 州	😬 🖽	9 V	(=¥h	Y 136 2 18		444-0-1	~				
发现名 · 1	豊労川 暦	51 <u>E</u>	17	項日番方	行奴	項目数 个	今出力範囲	乗計	重視表示				
MONTH	74/1 4		<u> </u>			<u> </u>	547—97. V		表示	~			
変数名	交通費請求問	用細2003年7月	分 551	00	パッケージ	JD0A9019	帳票 太	RS 000					^
H MONTH	7月4日	KYZ シスラ	LA JR	-	新宿	日黒	100	160				-	
CODE	7月4日	日本ソリ	그 - ジJR		目黒	浜松町	100	160					
BUSYO	7月4日 7月7日	あいうえ	生命 常国	7)	新宿	市坂	100	160				-	
ER ID	7月7日	自宅	20	Đ.	赤坂	北千住	100	230					
H NAME	7月8日	東京情報	システJR・ 新 本名	東急	新宿	溝の口	100	370					
AUTO BACE	7月8日	自宅	(1) (2) (2) (2) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3	ži • JR	門前仲町	日暮里	100	310				-	
	7月9日	佐野工業	JR		新宿	恵比寿	001	300					
	/月9日 7日10日	佐野上条 西愛シフ	ことで モルブ IR	1	患比寿 新定	神谷町	001	320				-	
B IKISAKI	7月10日	自宅	JR		五反田	日暮里	100	250				-	
B KIKAN	7月11日	東京ビッ	クサイJR	_	日暮里	新木場	001	420					
B JYOUSYA	78148	東京ビッ ぬのコーニ	シサイ闘が	# 1	新不場	国际展示网	001	460				-	
KOUSYA	7月15日	日本テク		都當	五反田	菊川	100	420				-	
CHECK	7月15日	あいうえ:	生命 當日	1	茅場町	赤坂	100	160					
KINGAKU	7月16日	日本郵政	名印	1 1 1 1 1	亦吸 日暮里	11111111111111111111111111111111111111	100	230					
B GOUKEL_KINGAKU	7月16日	本社		1	虎ノ門	新宿	100	160					
	7月17日	ABC	/ JR	-	日芽里	上野	100	130					
	7 117 1	中野玉葉	の 第二日	1	上17 宗協町	(小田)	100	230				-	
	7月18日	佐野工業	JR	-	新宿	恵比寿	001	300					
	7月18日	佐野工業	置回	3	恵比寿	神谷町	001	320				-	
	7月23日	あいうえ	生命 常同	7	新宿	赤坂	100	160				-	
	7月23日	GreateFo	mTechal	∄ • JR	赤坂	土呂	100	670					
	7月23日	中野事業	PT JR		土呂	池袋	100	480				-	
	£704914				1000	TN	100	100					
													V
< >>	<												>
h i i									現在位	置 < 行:28 項目番号:11 >	変数総数:	14 N	JM

マッピングされたテキスト変数を基準に、動的オブジェクトをリンクします。

ここで選択したテキスト変数のマッピング領域および行間隔を基準として、動的オブジェクト を出力します。

ここでは、自動出力によって動的オブジェクトを出力するための設定を行います。

♦♦ 操作 ♦♦

ツールボタン [動的オブジェクト]ボタンをクリックし、動的オブジェクト設定ダイアログを表示します。

図:動的オブジェクト設定ダイアログ

動的オブジェクト設定			×
一括 オフジェ外名 ○ OBJ_5 ○ OBJ_1 ○ OBJ_2 ○ OBJ_3	リンク先テキスト変数名 HIZUKE HIZUKE HIZUKE IKISAKI	出力条件 最終行(パ%-ンB) 全行(パ%-ンA) データ切替 データ切替	 一括編集 すべて選択(S) チャック施設条(1)
OBJ_4	IKISAKI GOUKEI_KINGAKU	全行(ハႪーンA) 最終行(ハႪーンA)	719/1405
出力条件説明			
			OK キャンセル

リスト上に Form エディターで作成した動的オブジェクト名が表示されます。 各動的オブジェクトが以下の内容で設定されていることを確認します。 ※出力条件に関しては前述の「2-2.動的オブジェクトの出力条件」をご覧ください。

オブジェクト名	リンク先テキスト変数名	出力条件
0BJ_1	HIZUKE	全行 (パターン A)
0BJ_2	HIZUKE	データ切替
0BJ_3	IKISAKI	データ切替
0BJ_4	IKISAKI	全行 (パターン A)
0BJ_5	HIZUKE	最終行(パターン B)
0BJ_6	GOUKEI_KINGAKU	最終行(パターンA)

 \ll Tips >>

このサンプル帳票では、テキスト変数 "GOUKEI_KINGAKU" に " 集計 " が設定されています。 集計によって出力されるデータ行に対しても動的オブジェクトが出力されることを、合わ せて確認してください。

集計については、マネージャーのメニュー [ヘルプ]-[オンラインマニュアル] から「3. 機能リファレンス」-「3.4 集計値の表示とデータ編集」-「集計値の表示」をご覧ください。

動的オブジェクトとテキスト変数のリンク設定が終了しましたので、Datamap エディターを終 了します。

♦♦ 操作 ♦♦

Datamap エディターを終了します。

最後に動的オブジェクトの出力結果を確認します。

♦♦ 操作 ♦♦

マネージャーのプレビューエリアより、"trans_fee_auto.sty" をクリックして選択し、マネージャーのツールボタン[実行]をクリックします。

Create!Form Design V12		×
ジョフ [・] ファイル: trans_fee_auto.sty 作葉ディレクトリ: ^{C¥Program} Data¥Infotec¥CreateForm¥12¥work¥tut¥dynam	参照(<u>S</u>)	
データ 出力先 オフション データベース Screen設定 ID データック ス データタイク データンース名 1 trans_fee_auto CSV trans_fee_autocsv	<u>追加(A)</u> マージ追加(M) 削除(D) ↑	
実行ジタイム PDF HTML Excel 印刷 ③ Cast O Screen O Expage O Print	O PrintStage	
実行コマントライン: -DC-¥ProgramData¥Infotec¥CreateForm¥12¥work¥tut¥dyn 実行 2 [°] しビュー ビ実行後になく7回りを閉じる	amic -strans_fe 閉じる	~

それぞれの設定項目が正しいことを確認し、テスト実行を行います。

♦♦ 操作 ♦♦

[実行ランタイム]-[PDF]-[Cast] ラジオボタンが選択されていることを確認して、[プレビュー] ボタンをクリックします。

义:	プ	レ	Ľユ	一画	伯
----	---	---	----	----	---

٦.	🟃 trans_fee_auto.pdf - Adobe Acrobat Reader DC — 🗆 🗙																
					-												
7	k−1⁄4	ツール	t	rans_fee_	auto.pdf ×										?) サイ:	ンイン
R	n d	۰. ا		C	(†) (J)	1/	2		رM,	\ominus \oplus	46.2%	. .	R	t,			
_		1- 1-1		~	00	·		`	\cup	00			I⇔I	L±			
																	^
E								T									- 11
	六 (新州)	生命用金生				1. H	R AVAILABLE MIL		六活弗	法心明如此				-		X N	
	父迪貧	前不明和香			-				父理貨	前不明和音				-			
	2003	〒月分 -1-							2003	₩7月分 - 2 -							
	NR7	644.8		1944	A 4				N	844.8		10.01		A 1			
	55100	パッケージナ	ロダク トG	049019	氨基	太郎			55100	パッケージプロ	<i>ダク</i> トG	0.09019		氨苯	大郎		
	8.8	17.5	2888			8/9	* *	-1	8.8	17.5	2888				<u>用/限</u>	* *	
	7月2日	あいうえ生命	常問	制包	宗桜	D / D	320		7月24日	增江事業所	JR	184	秋葉川	L	R/0	150	
	7月4日	MZシステム	JE	前官	日長	D/D	160				都常	岩木町	増に		10/0	260	
		日本フリューション	12	日果	與松町	B/D	160			中野事業所	都常	増仁	東市		10/0	310	
		9.8	12	高松町		0/0	160			DORA	18	2.0	不反日		8/0	160	
	7878	2012240	1011	21.02	#W	0/0	160			0.2	19	TNB			8/0	250	
		0.2	9110	#W	250	8/0	230		78258	311322A	10.00	0.50	114		8/0	230	
	7840	東京連盟システム	12.20	100	1000	8/0	370		.,,	MCB-プレステム	98.18 - 12	##	THE		8/0	310	
		金行意意形	80.00	100	Reter	8/0	410			日本学々ノロジ	12.819	TNE			8/0	420	
		0.2	#18 - 12	Reter	10N/100	8/0	310			0.8	89.10	- 100 H	100		8/0	120	
	78.00	11-0 #-11-19	N DO T DA	100000	***	0/0	200		*8.nem	100	10.011.04	10.00	7.07		0/0	140	
	101.010	10.07 - 38		***	SALVE MARK	0/0	200		171-010	4/4 ***		100	35 (A) (A)				
	78100	再会システムズ	10	54.9	0.0.07	0/0	340			小い学業の	40 A CO	PERMAN	0.00		8/0	130	
		0.2				0/0	250		18100	110000	100	0.50	100				
•		######################################		1.8.8	***	0/0	470		171-010	81-7A10	ALC:	4.110			0/0		- 4
	171114	MAX - 22 24 1	100	105 545	100 B 44 B	0/0	420			自主九位 (小田市市)(1)	ALC: UNK	10.00	-9.87		0/0		
	78147	100 march	-	1000 C	1000 C	0/0	400		18100	110000		10.00			0/0		
	101111	TRACT CARL	10 m m m m	7.97	17 M P	0/0	400		1012010	8017A2.0	31.80	***	/1 K		0/0	100	
	171 and	100000	24 * 69 W	-0.0 840	20	8/0	100	1	171413		10.00	al tel	10052.0		불/분		
		0.8	14 DJ		010	8/0	004	1	1	ホーン アア 4 かが の影響業務	241-16R	(A154.F) 末前小	100		분/단		
	78140	11-3 日本部時小34	10, 499	0.00	4.T1L	8/0	200	-1	<u> </u>	1 N T # 801	WW 1 JK	1440			E/U	×14 090	
	121.000	*2		10 / FD	107 11 107 11	8/0	160		L					n M		14,980	
	18170	100 march		10.011	1.00	8/0	100										
	10111	No/	JK MOR	1.00		8/0	100										
			A D	1.17 1.18	(C)	8/0	100										
	18140		40	27-00-1 06-00	1.47	B/D	230										
	171.08.0	70.07-0-00	JK	#110 #10.00	10.000 10.000	0/8	300										
	1800.0	88.00 B 1 T	40	81.14 81.9	(1947)	U/U	320										
	7,840.0	HBYATAA BUIJAGA	JK	#110 #110	(0454*)	U/U	380										
	1712318	0117A.28	#00 · 00	#110 (0.00	#-# 1.0	<u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u></u>	160										
		Createroraliech	8-0-18	(F) (K)	10	B/D	670										
		1187 (1997)	38	ID	20.32	8/0	490										
			38	11 1 2	中野	8/0	160	-1									
								1									
1																	× 1

フォームで作成した動的オブジェクトが CSV データファイルおよび Datamap エディターで指定 した位置に出力されることが確認できます。

以上で、動的オブジェクトを使用した ″交通費請求明細書 ″の帳票が完成しました。

4. XML データによる動的オブジェクトの出力

XML データファイルを使用した動的オブジェクトの出力は、基本的に CSV データファイルと同様の手順で行います。

ただし、出力条件で ["] 出力位置指定 ["] を設定した場合は、入力データファイル中での動的オブ ジェクト名の指定方法が異なるため注意が必要です。

4-1. 動的オブジェクト名の指定方法

XML データファイルによる動的オブジェクト名の指定は、要素の属性値に動的オブジェクト名 を記述します。

この動的オブジェクト名を記述する要素は、動的オブジェクトをリンクしたテキスト変数に よってマッピングされている要素となります。

また、この時指定する属性名は "create_dynamic" とします。

1行に複数の動的オブジェクト名を指定する場合は、動的オブジェクト名の間を ";"(セミコロン)で区切って指定します。

図:動的オブジェクト名を指定した XML データ



なお、XML データファイルによる動的オブジェクトの出力は、″帳票資源フォルダー ¥tut¥ dynamic″にあるサンプル帳票で確認できます。

プレビューエリアから、ジョブファイル "trans_fee_setx.sty" または "trans_fee_autox. sty" を選択して実行結果の確認を行ってください。

5. 動的オブジェクト設定について

5-1. Form エディター

Form エディターで動的オブジェクトの設定を行う「動的オブジェクト設定ダイアログ」について説明します。

図:動的オブジェクト設定ダイアログ

動的オブジェクト設定 ×
わジェ外名: OBJ_1 🔹
――― リンク先テキスト変数に対する位置設定―――
位置合わせ: 上 ▼ 補正: -2.000 ÷
── 各わジェクトに対する重ね合わせ設定 ──
ⓒ 最前面に描画 ○ 最背面に描画
[] 共通な設定を有効にする
線種:
線幅: 1.500 🗧 色: 選択
動的化解除
プロパティ 閉じる

[オブジェクト名]

動的オブジェクトを識別する名前を指定します。

<< 注意 >>

動的オブジェクト名は以下の条件を満たしている必要があります。 ・最初の文字は英数字

- ・続く文字は英数字または記号[_]、[-]、[#]のいずれか
- ・最大長 31 バイト

なお、既に定義されたオブジェクト名をコンボボックスから選択することも可能です。 また、オブジェクト名を選択したり、同じオブジェクト名を入力して動的化した場合は、既存 の動的オブジェクトのグループに、このオブジェクトが追加されます。

5-1-1. リンク先テキスト変数に対する位置設定

データマップで設定したリンク先のテキスト変数に対して、オブジェクトをどのように出力するかを設定します。

[位置合わせ]

動的オブジェクトを出力する縦位置(上、真中、下)を設定します。 なお、リンクしたテキスト変数の行間隔に対して有効になります。 ※同名の動的オブジェクトすべてに対して設定されます。 図:位置合わせ例 上 リンク先のテキスト フォントサイズ15_000(point) 行間隔30.000(point)

[補正]

[位置合わせ]で設定した出力位置からの Y 座標の補正値を入力します。0.000 が初期値となります。

動的オブジェクトは、プラス値ならば下に、マイナス値なら上にずれて描画されます。 ※同名の動的オブジェクトすべてに対して設定されます。



(位置合わせ:真中)

5-1-2. 各オブジェクトに対する重ね合わせ設定 動的オブジェクトを出力する際の描画順番を設定します。

[最前面に描画]を設定すると、他の全てのオブジェクトより前面に描画されます。 打ち消し線等の用途に使用できます。

[最背面に描画]を設定すると、他の全てのオブジェクトより背面に描画されます。 背面の色づけなどの用途に使用できます。

初期設定は、[最前面に描画]です。 ※同名の動的オブジェクトすべてに対して設定されます。

 図:重ね合わせ例

 最前面に描画:
 最背面に描画:

 最前面に描画
 最背面に描画:

[共通な設定を有効にする]

設定したオブジェクト名と同じオブジェクト名をもつ動的オブジェクト全てに、[線種]、[線 幅]、[色]の設定を反映させる場合に、チェックボックスをチェック状態にします。 チェックした状態のまま動的化を行なうと、それぞれの設定が、同じ名前の動的オブジェクト すべてに反映されます。

[動的化]

上記の動的オブジェクト設定を使用してオブジェクトを動的化します。 動的オブジェクト設定は、Formエディター上で選択されている全てのオブジェクトおよび同 名の動的オブジェクトすべてに反映されます。

[解除]

Form エディター上で選択されている動的オブジェクトの設定を解除します。 その名前の動的オブジェクトが全て解除されると、オブジェクト名のリストからその情報も自 動的に削除されます。

[プロパティ]

Form エディター上で選択されているオブジェクトのプロパティダイアログを表示します。 動的オブジェクト設定ダイアログで設定できない各オブジェクト固有のプロパティを設定する 場合に使用します。

[閉じる]

動的オブジェクト設定ダイアログを終了します。

[動的化]ボタンをクリックする前にダイアログを閉じると、動的オブジェクト設定が反映されないためご注意ください。

5-2. Datamap エディター

Datamap エディターでテキスト変数と動的オブジェクトのリンク設定を行う「動的オブジェクト設定ダイアログ」について説明します。

<u>図:動的オブジェクト設定ダイアログ</u>

動的オブジェクト設定			×
 一括 打 % 20 k名 ○ 08 J 5 ○ 08 J 1 ○ 08 J 2 ○ 08 J 3 ○ 08 J 4 ○ 08 J 6 	リンク先テキスト変数名 HIZUKE HIZUKE IIZUKE IIXISAKI IIXISAKI GOUKELKINGAKU	出力条件 最終行(パラ-ンB) 全行(パラ-ンA) データ切替 データ切替 全行(パラ-ンA) 最終行(パラ-ンA)	 一括編集 すべて選択(S) チェック解除(U)
出力条件説明			ОК +6)/t/l

[一括編集]

動的オブジェクトー括編集ダイアログを起動します。

[すべて選択]

リストに表示されている全ての動的オブジェクトのチェックボックスを "ON" にします。

[チェック解除]

リストに表示されている全ての動的オブジェクトのチェックボックスを "OFF" にします。

[出力条件説明]

選択された出力条件の詳細説明が表示されます。

[OK]

動的オブジェクト設定ダイアログでの設定を反映して、ダイアログを終了します。

[キャンセル]

動的オブジェクト設定ダイアログでの設定を反映せずに、ダイアログを終了します。

<< 注意 >>

Datamap エディターで設定したテキスト変数と動的オブジェクトのリンク設定は、Form ファ イルを修正(対象の動的オブジェクトの削除など)しても反映されません。 テキスト変数と動的オブジェクトのリンク設定を解除したい場合は、[リンク先テキスト変 数名]として空欄を選択してください。

6. 注意事項

テキスト変数のプロパティで以下の設定を行っている場合、リンク先テキスト変数として指定 することができません。

・[配置]タブ - [自動改行]が設定されている

- ・[配置] タブ [流し込み] が設定されている
- ・マッピングがされていない

「自動改行」もしくは「流し込み」を設定している場合、設定を解除して変数をインポートす る必要があります。 変数のインポートには下記手順で行います。

1:Datamap エディターにて、リンク先とするテキスト変数を削除します。

2: Form エディターにて、リンク先テキスト変数とする変数のプロパティから

「流し込み」 / 「自動改行」設定を解除し、Form ファイルを保存します。

- 3:Datamap ファイルを開き、メニューバー「編集」から「変数のインポート」を選択します。 4:該当する Form ファイルを選択して「OK」ボタンを押します。
- 5: 削除した変数が表示されるので、チェックが入っていることを確認して「OK」ボタンを 押します。
- 6: 変数名リストにインポートした変数名が表示されるので、該当するエリアをマッピング します。

複数ページ帳票では表オブジェクトと動的オブジェクトは同時に使えません。

Create!Form 12

動的オブジェクト 第2版

発行日 発行者 2024 年 8 月 インフォテック株式会社